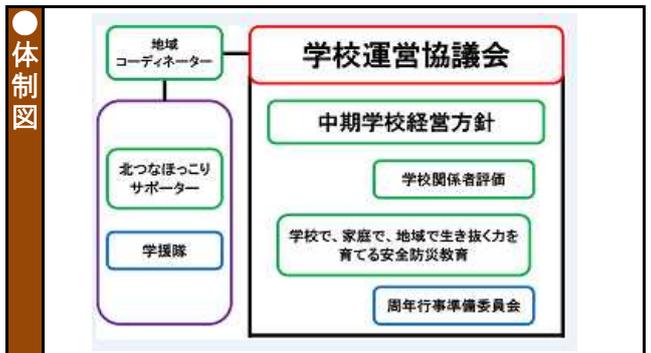


神奈川県横浜市	●活動名 北綱島小学校地域学校協働活動	●関係する学校名 横浜市立北綱島小学校
---------	------------------------	------------------------

協働活動開始年度	平成 26 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	23 学級	のべ児童・生徒数	660 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	外部人材を活用した教育支援活動			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	2人			
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
参考URL	http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kitatsunashima/						

●連絡先	横浜市立北綱島小学校	☎ 045-542-9248
------	------------	----------------



●活動の概要・経緯

学校運営協議会を通して、地域・家庭との連携を強化し、ともに安全防災教育や地域の教育力を活用した学習活動を充実させ、地域に開かれた学校づくりを推進している。学校は、学校運営協議会で地域が協力できることを助言いただき、地域コーディネーターを通して学校支援ボランティアである「北つなほっこりサポーター」や学援隊などの地域人材に繋げていただいている。北綱島小学校の安全防災教育は、東日本大震災後の平成23年に始まった。学区内に住宅密集地があり、延焼火災時の避難対応などが課題となる一方、核家族が多く、いざという時に大人を頼れない家庭が少なくない。そうした地域性も踏まえて独自に「きたつな安全防災プラン」というカリキュラムを作成し、地域との日常的な関わりの中で育成される資質・能力が非常時にも生きるという考えのもと、教育活動を展開している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 学校総合防災訓練と地域防災拠点訓練を、児童・保護者を含む地域全体の防災力を高めるという目的のもと、休日の授業参観日に実施。毎年、学校運営協議会で事前の協議と事後の振り返りを行い、より充実した活動になるよう展開している。
- 毎年6月に行われる学校総合防災訓練は、保護者も防災の授業や、避難訓練に参加している。
- 秋の地域防災拠点訓練では、児童・保護者が地域住民と自宅から学校に避難し、家庭と地域が連携した実践的な訓練を実施。訓練後の授業で振り返りをしたり、学習を発展させたりしている。

【実施に当たっての工夫】

- 学校運営協議会の内容を教職員全体で共有し、安全防災教育の土台となる地域住民との関係を深めるために、学校は毎年、各学年の年間指導計画を見直している。年間指導計画は、児童と地域住民が意図的・計画的に交流できるよう、北つなほっこりサポーターや学援隊などの活動に反映している。
- 支援活動の事前に地域コーディネーターが教職員と活動の目的や内容を確認し、北つなほっこりサポーターや学援隊などへ協力を依頼して、教育活動がより円滑で効果的に推進できるようにしている。
- <具体的な活動内容> ○1年生の学援隊体験やむかしあそび(生活科) ○2年生のまち探検(生活科) ○3年生の七輪体験(社会) ○4年生の消防団調べ(社会) ○5, 6年生の裁縫・ミシン補助(家庭科) ○個別支援学級の野菜や花の栽培活動

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 安全や防災に関する学習は主に生活科や総合学習の時間に行うが、理科や社会、道徳など他教科の時間にも関連させて、横断的に行っている。点になりがちな防災訓練と日常の学習を結び付け、学習の中で地域住民と交流できる場面を意図的、計画的に取り入れることで子どもたちの視野が広がり、学びがより深まった。
- 4年生では、安全防災教育をESD×福祉でとらえる実践が新たに行われるなど、各学年で多様な実践を展開している。
- 学習を通して地域住民と関わることができ、児童が自分の住むまちや人を好きになっている。

● その他

○中学年では安全防災教育を新しく「地域の自然」や「福祉」の視点からとらえ、地域と繋がりを持つことができ、活動に広がりを見せている。



地域
の
自然と
安全
な
防災
活動
の
取
組
み
を
進
め
て
い
く
よ
う
に
し
て
い
る
。



災害
時
に
は
安
全
な
方
法
を
交
流
し
て
い
く
よ
う
に
し
て
い
る
。